

入学志願者案内 博士(一般入試および社会人特別選抜)

1. 一般入試および社会人特別選抜への出願資格は、新領域創成科学研究科博士後期課程学生募集要項（以後、研究科募集要項）を参照すること。なお、医歯学・獣医学・薬学系の6年制学部卒業、卒業見込みの者等、修士の学位または専門職学位を持たない者は個別の入学審査が必要となるので研究科入試情報サイトの問合せフォームからその旨連絡すること。
2. 志願者は、研究科募集要項で定めた出願期間に、提出書類を研究科オンライン出願サイトからアップロードすること。出身大学等の成績証明書の提出は不要である。
3. 企業・官公庁・団体等に在職している者で、研究科募集要項に記載する要件を満たす者は、社会人等特別選抜の出願資格を持つ。希望する者は出願時に申告すること。なお、企業、官公庁、団体等に在職のまま大学院に入学を希望する者は、出願に際し「学業・職務両立計画書」（様式任意、A4で1ページ程度）のPDFファイルをオンライン出願サイトからアップロードし、合格者は入学手続きの際に、在学期間中、学業に専念させる旨の「所属長の承諾書（様式任意）」を提出すること。
4. 志願者は、必要事項を記入した「調査票（博士）」（本専攻入試情報サイトからダウンロードする）のPDFファイルを出願時にアップロードすること。志願者は、志望研究分野を1つ申告すること。また、出願前に研究指導を志望する教員に連絡を取り、希望する研究内容について相談すること。ただし、事前相談ができなかった場合でも出願を妨げるものではない。なお、定年退職のため、以下の教員は学生を募集しない。
 - 藤原 晴彦 教授（遺伝システム革新学分野）
 - 青木 不学 教授（資源生物制御学分野）
 - 片岡 宏誌 教授（分子認識化学分野）
 - 津田 敦 教授（先端海洋生命科学分野）
 - 永田 俊 教授（先端海洋生命科学分野）
 - 大矢 禎一 教授（生命応答システム分野）
5. 入試日程 A 及び入試日程 B での出願が可能である。入試日程 A に出願し合格した者は入試日程 B に出願することができない。
6. 試験科目は、英語試験（第1次試験）及び修士論文等の発表を含む口述試験（第2次試験）である。英語試験は TOEFL スコアシートの提出とし、本研究科で実施する TOEFL-ITP は受験できない。なお、本学修士課程を修了または修了見込み者は、英語の試験を省略する。また、アメリカ合衆国、イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドの大学または大学院の卒業（修了）者、卒業（修了）見込み者については英語の試験を免除する場合があるので、希望者は「調査票（博士）」の該当欄で申告すること。
7. 入学は原則として 2023 年 4 月であるが、入試日程 A の合格者のうち、修士の学位を有する者及び 2022 年 9 月 30 日までに修了見込みの者で 10 月入学を希望する者には、2022 年 10 月の入学を認めることがある。希望する者は出願時に申告すること。ただし、修了見込みの者が修了できなかった場合など、出願締切り後の受験者の都合による入学時期の変更は認めない。
8. 受験者からの各教員への問い合わせは出願締切り前に限る。出願締切り後は、受験者からの問い合わせは、本専攻入試委員長に対する事務的内容に関する質問のみ認める。

入学志願者案内 博士(一般入試および社会人等特別選抜)

入試日程 A

※入試日程 B の詳細は入試日程 A 終了後に公開する。

1. 英語試験

TOEFL スコアシート提出

TOEFL-iBT®ないしは TOEFL-iBT® Home Edition (旧 TOEFL-iBT® Special Home Edition) の Test Taker Score Report (スコアシート) の電子コピー (PDF ファイル) を、出願時または 2022 年 7 月 22 日 (金) までに研究科オンライン出願サイトからアップロードすること。TOEFL スコアシート提出については、研究科募集要項を参照すること。別途、Institutional Score Report (Official Score Report) を入学手続きまでに研究科教務チームに提出すること。これらのスコアシートは、2020 年 9 月 1 日以降に受験したものでなければならない。提出期限までに間に合わない場合は専攻入試委員会にその旨を連絡すること。

2. 口述試験

口述試験は修士論文 (またはそれに代わるもの) の発表を含む。発表の要旨 (A4 で 2 ページ) を事前に提出すること。修士論文 (またはそれに代わるもの) を要旨に添えて提出してもよい。口述試験は以下のとおり実施する。

2023 年 4 月入学を希望する一般入試出願者

試験日時: 2023 年 1 月 30 日 (月) ~ 2 月 1 日 (水) のいずれか 1 日

試験場所: オンラインで実施する。

備考: 発表の要旨提出の詳細は、2023 年 1 月 9 日 (月) までに電子メール等により通知する。オンライン受験のためのカメラ・マイク・スピーカー付きパソコンおよびインターネット環境を用意すること。不正行為の未然防止のため、試験を受ける部屋の中を口述試験の開始直前にパソコン内蔵カメラ等で 360 度撮影して確認する。カメラ内蔵であってもデスクトップパソコンのように手に持って 360 度撮影することが出来ないものはオンライン受験に使用できない。試験時間・実施方法の詳細については 2023 年 1 月 20 日 (金) までに電子メール等により通知する。

社会人等特別選抜出願者と 2022 年 10 月入学を希望する一般入試出願者

試験日時: 2022 年 8 月 3 日 (水) あるいは 8 月 5 日 (金)

試験場所: オンラインで実施する。

備考: 発表の要旨提出の詳細は、2022 年 7 月 13 日 (水) までに電子メール等により通知する。オンライン受験のためのカメラ・マイク・スピーカー付きパソコンおよびインターネット環境を用意すること。不正行為の未然防止のため、試験を受ける部屋の中を口述試験の開始直前にパソコン内蔵カメラ等で 360 度撮影して確認する。カメラ内蔵であってもデスクトップパソコンのように手に持って 360 度撮影することが出来ないものはオンライン受験に使用できない。試験時間・実施方法の詳細については 2022 年 7 月 22 日 (金) までに電子メールにより通知する。

3. 合格内定者の発表

最終的な合格発表は研究科全専攻の入試終了後、研究科での審議を経て行われるが、本専攻ではすべての試験が終了し、専攻としての最終的な合否判定がなされた段階で、内定の発表を行う。2023 年 2 月 3 日 (金) の正午頃に、発表する URL を電子メールにて通知する。社会人等特別選抜出願者と 2022 年 10 月入学を希望する者には、2022 年 8 月 8 日 (月) の正午頃に、発表する URL を電子メールにて通知する。

入学志願者案内 博士（外国人等特別選考）

- 外国人等特別選考への出願資格は、新領域創成科学研究科博士課程学生募集要項（以後、研究科募集要項）を参照すること。
- 志願者は、必要事項を記入した「調査票（博士）」（専攻入試情報サイトからダウンロードする）の PDF ファイルを出願時に研究科オンライン出願サイトからアップロードすること。
 - 志願者は、「外国人等特別選考を希望する」旨を出願時に申告すること。
 - 志願者は、志望研究分野を1つ申告すること。また、出願前に研究指導を志望する教員に連絡を取り、希望する研究内容について相談すること。なお、定年退職のため、以下の教員は学生を募集していない。

藤原 晴彦 教授（遺伝システム革新学分野）
青木 不学 教授（資源生物制御学分野）
片岡 宏誌 教授（分子認識化学分野）
津田 敦 教授（先端海洋生命科学分野）
永田 俊 教授（先端海洋生命科学分野）
大矢 禎一 教授（生命応答システム分野）
- GPA が記載された出身大学等の成績証明書の電子コピー（PDF ファイル）を出願時にアップロードすること。
- 入試日程 A および入試日程 B での出願が可能である。入試日程 A に出願し合格した者は入試日程 B に出願することができない。
- 試験科目は、英語試験（第1次試験）及び修士論文等の発表を含む口述試験（第2次試験）である。英語試験は TOEFL スコアシートの提出とし、本研究科で実施する TOEFL-IPT は受験できない。外国人等特別選考では、提出された TOEFL スコアシートの total score が 80 点以上でなければ、口述試験を受験することができない。Test Date スコアのみを有効とし、MyBest スコアは有効としない。なお、アメリカ合衆国、イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドの大学または大学院の卒業（修了）者、卒業（修了）見込み者については英語の試験を免除する場合があるので、希望者は調査票の該当欄で申告すること。
- 入学は原則として 2023 年 4 月であるが、入試日程 A の合格者のうち、修士の学位を有する者及び 2022 年 9 月 30 日までに修了見込みの者で 10 月入学を希望する者には、2022 年 10 月の入学を認めることがある。希望する者は出願時に申告すること。ただし、修了見込みの者が修了できなかった場合など、出願締切り後の受験者の都合による入学時期の変更は認めない。入試日程 B においても、入学は原則として 2023 年 4 月であるが、合格者のうち入学の前日までの卒業見込者で 10 月入学を希望するものには、2023 年 10 月の入学を認めることがある。希望する者は出願時に申告すること。なお、出願締切り後の受験者の都合による入学時期の変更は認めない。
- 受験者からの各教員への問い合わせは出願締切り前に限る。出願締切り後は、受験者からの問い合わせは、本専攻入試委員長に対する事務的内容に関する質問のみ認める。

入学志願者案内 博士（外国人等特別選考）

入試日程 A

※入試日程 B の詳細は入試日程 A 終了後に公開する。

1. 英語試験

TOEFL スコアシート提出

TOEFL-iBT®ないしは TOEFL-iBT® Home Edition（旧 TOEFL-iBT® Special Home Edition）の Test Taker Score Report（スコアシート）の電子コピー（PDF ファイル）を、出願時または 2022 年 7 月 22 日（金）までに研究科オンライン出願サイトからアップロードすること。TOEFL スコアシート提出については、研究科募集要項を参照すること。別途、Institutional Score Report（Official Score Report）を入学手続きまでに研究科教務チームに提出すること。これらのスコアシートは、2020 年 9 月 1 日以降に受験したものでなければならない。提出期限までに間に合わない場合は専攻入試委員会にその旨を連絡すること。

2. 口述試験

口述試験は修士論文（またはそれに代わるもの）の発表を含む。発表の要旨（A4 で 2 ページ）を事前に提出すること。修士論文（またはそれに代わるもの）を要旨に添えて提出してもよい。口述試験は以下のとおり実施する。

2023 年 4 月入学を希望する出願者

試験日時：2023 年 1 月 30 日（月）～2 月 1 日（水）のいずれか 1 日

試験場所：オンラインで実施する。

備考：発表の要旨提出の詳細は、2023 年 1 月 9 日（月）までに電子メール等により通知する。オンライン受験のためのカメラ・マイク・スピーカー付きパソコンおよびインターネット環境を用意すること。不正行為の未然防止のため、試験を受ける部屋の中を口述試験の開始直前にパソコン内蔵カメラ等で 360 度撮影して確認する。カメラ内蔵であってもデスクトップパソコンのように手に持って 360 度撮影することが出来ないものはオンライン受験に使用できない。試験時間・試験実施方法の詳細については 2023 年 1 月 20 日（金）までに電子メール等により通知する。

2022 年 10 月入学を希望する出願者

試験日時：2022 年 8 月 3 日（水）あるいは 8 月 5 日（金）

試験場所：オンラインで実施する。

備考：発表の要旨提出の詳細は、2022 年 7 月 13 日（水）までに電子メール等により通知する。オンライン受験のためのカメラ・マイク・スピーカー付きパソコンおよびインターネット環境を用意すること。不正行為の未然防止のため、試験を受ける部屋の中を口述試験の開始直前にパソコン内蔵カメラ等で 360 度撮影して確認する。カメラ内蔵であってもデスクトップパソコンのように手に持って 360 度撮影することが出来ないものはオンライン受験に使用できない。試験時間・試験実施方法の詳細については 2022 年 7 月 22 日（金）までに電子メール等により通知する。

3. 合格内定者の発表

最終的な合格発表は研究科全専攻の入試終了後、研究科での審議を経て行われるが、本専攻ではすべての試験が終了し、専攻としての最終的な合否判定がなされた段階で、内定を発表する。2023 年 2 月 3 日（金）の正午頃に、発表する URL を電子メールにて通知する。2022 年 10 月入学を希望する者には、2022 年 8 月 8 日（月）の正午頃に、発表する URL を電子メールにて通知する。